

第 3 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 261-8515
住 所 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
氏 名 まいばすけっと株式会社
代表取締役 岩下 欽哉 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第 1 1 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	まいばすけっと株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市高津区下作延3-24-35		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の種類	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	主として各種食料品、酒類の販売		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		4,955 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	F A X 番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022年度～2024年度(報告年度2023年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1、2、4号該当者等）

（1）計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2021年度)	第1年度 (2022年度)	第2年度 (2023年度)	第3年度 ()年度	目標排出量
排出量 (t-CO ₂)	(実) 8,428 (調) 8,353	(実) 9,006 (調) 8,986	(実) 8,825 (調) 8,708	(実) (調)	(実) 9,792 (調) 9,704
削減率		(実) -6.9 % (調) -7.6 %	(実) -4.7 % (調) -4.2 %	(実) % (調) %	(実) -16.2 % (調) -16.2 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値（任意記載）

原 単 位 等 の 活 動 量		延べ床面積		原単位等の単位	t-CO2/m ²
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標とした値
	(2021 年度)	(2022 年度)	(2023 年度)	(年度)	
排出量原単位等の値	0.4504	0.4619	0.4405		0.4310
活動量の値	18,712	19,495	20,031		－
排出量原単位等の削減率		－2.6 %	2.2 %	%	4.3 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	22年度は店舗が5店舗増えたことで、電気使用量が増えた。省エネ対策を行うことで、原単位を抑える事を目標に実施
第2年度	23年度は店舗が6店舗増えたことで、電気使用量が増えた。省エネ対策を行うことで、原単位を抑える事を目標に実施
第3年度	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

（2）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）（任意記載）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	①新規出店店舗のLED照明ランプ採用 ②既存店舗のLED照明化(天井照明、冷蔵ケース照明) ③温度管理システムの導入による機器稼働の調整 ④バックヤードなどの不要時照明OFF(人感センサー設置) ⑤冷凍冷蔵ケースの適正温度表示・設定 ⑥冷氣噴出し・吸い込み口の陳列物整理 ⑦空調、内蔵冷蔵ケースのフィルターの清掃 ⑧冷蔵冷凍設備及び空調設備の室外機の清掃(年1回定期清掃) ⑨季節ごとによる、店舗での省エネ対策(全店) ⑩GWP1500以下に抑えた冷凍機、冷蔵ケースの導入	
第1年度	下記を計画通り徹底して実施することができた。 ①新規出店店舗のLED照明ランプ採用 ②既存店舗のLED照明化(天井照明、冷蔵ケース照明) ③温度管理システムの導入による機器稼働の調整 ④バックヤードなどの不要時照明OFF(人感センサー設置) ⑤冷凍冷蔵ケースの適正温度表示・設定 ⑥冷氣噴出し・吸い込み口の陳列物整理 ⑦空調、内蔵冷蔵ケースのフィルターの清掃 ⑧冷蔵冷凍設備及び空調設備の室外機の清掃(年1回定期清掃) ⑨季節ごとによる、店舗での省エネ対策(全店) ⑩GWP1500以下に抑えた冷凍機、冷蔵ケースの導入	
第2年度	下記を計画通り徹底して実施することができた。 ①新規出店店舗のLED照明ランプ採用 ②既存店舗のLED照明化(天井照明、冷蔵ケース照明) ③温度管理システムの導入による機器稼働の調整 ④バックヤードなどの不要時照明OFF(人感センサー設置) ⑤冷凍冷蔵ケースの適正温度表示・設定 ⑥冷氣噴出し・吸い込み口の陳列物整理 ⑦空調、内蔵冷蔵ケースのフィルターの清掃 ⑧冷蔵冷凍設備及び空調設備の室外機の清掃(年1回定期清掃) ⑨季節ごとによる、店舗での省エネ対策(全店) ⑩GWP1500以下に抑えた冷凍機、冷蔵ケースの導入 ⑪スリットカーテン導入	
第3年度		
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)		

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況
(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	○	オフサイト P P A 24 年 4 月 導入 に向け 準備 中
風力		
バイオマス	○	24 年度 導入 に向け 協議 開始
未 利 用 エ ネ ル ギ ー		
その他 (非化石証書)	○	拡大 に向け 協議 開始
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
オフサイト P P A	脱炭素アクションみぞのくちと連携	2024
バイオマス発電電力導入	川崎市地産地消電力として、川崎市京浜バイオマス発電所由来の電気をトラッキング付きで導入 (2024 年 8 月より)、47 店舗にて導入。	2024

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況
(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS 等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	なし
第 1 年度	なし
第 2 年度	なし
第 3 年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

計 画	・ GWP1500未満の冷媒ガスの導入 ・ 食品リサイクルの推進 ・ 地域集中出店による物流効率化を図り、配送車のCO₂排出量を削減 ・ ノンフロン飲料什器を導入（780台） ・ 川崎市と連携した植樹活動（宮前区宮沢地域） ・ 廃プラとして、「エコバック推進」「箸、スプーン等をバイオ製品に交換」
第 1 年度	・ GWP1500未満の冷媒ガスの導入 ・ 食品リサイクルの推進 ・ 地域集中出店による物流効率化を図り、配送車のCO₂排出量を削減 ・ ノンフロン飲料什器を導入（830台） ・ 川崎市と連携した植樹活動（宮前区宮沢地域） ・ 廃プラとして、「エコバック推進」「箸、スプーン等をバイオ製品に交換
第 2 年度	川崎市の「脱炭素アクションみぞのくち」に加盟。川崎市と連携した取り組みをスタート ・ GWP1500未満の冷媒ガスの導入 ・ 食品リサイクルの推進 ・ 地域集中出店による物流効率化を図り、配送車のCO₂排出量を削減 ・ ノンフロン飲料什器を導入 ・ 川崎市と連携した植樹活動（宮前区宮沢地域） ・ 廃プラとして、「エコバック推進」「箸、スプーン等をバイオ製品に交換
第 3 年度	

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

（1）事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	8,428 t-CO ₂	9,006 t-CO ₂	8,825 t-CO ₂	t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	4,850 KL	5,069 KL	4,955 KL	KL
事業所の数	1	1	1	

（2）事業所等单位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
まいばすけっと全店		8,428	9,006	8,825	

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量（t-CO ₂ ）			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度